

# 平成27年度 行政管理部長「政策宣言」中間報告

行政管理部長 橋 詰 通

## ○ 平成27年度重要事業

事業名	行財政改革の推進
目 標	第3次行財政改革集中改革プランに掲げた取組の達成に向け進行管理を徹底するとともに、インフラを含む公共施設等総合管理計画の策定、事務事業評価の再開など、積極的に行財政改革を進めます。
進捗状況	第3次行財政改革集中改革プランについては、平成27年度改訂版として新規の取組を加え9月に公表し、事務事業評価については、行財政改革推進会議委員による外部評価を9月末、10月初旬に行ったところです。また、公共施設等総合管理計画に関連して、公共施設を取り巻く現状や課題を市民の皆さんと情報を共有するため、7月号広報からその内容をシリーズでお伝えするとともに、8月には公共施設のあり方を考える講演会を開催しました。
今後の対応	事務事業評価については、庁内で構成する庁内評価委員による2次評価を行ってまいります。 また、公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進するため、引き続き、公共施設等総合管理計画の策定に努めてまいります。

事業名	中長期的な視野に立った財政運営
目 標	財政規律の堅持に留意しつつ、将来の歳入増や歳出の再編につながる事業を積極的に推進するなど、メリハリの効いた予算編成を行います。 また、将来を見据え、後年度における財政負担の一層の軽減(市債の繰上償還、基金の積増)に努めるとともに、自主財源の確保に向け、ふるさと納税による寄附促進を図ります。
進捗状況	今後の財政運営の指針となる中長期財政計画を見直すとともに、9月補正予算において、財政調整基金に3億円、市債の繰上償還の財源に充てる減債基金に4億円を積み立てました。 また、ふるさと納税の返礼品を拡充したところ、寄附件数を大幅に伸ばすことができました。
今後の対応	選択と集中を旨とした予算編成を通じ、未来世代に選ばれるまちづくりを推進するとともに、年度末に向け、市債の繰上償還を実施します。 また、ふるさと納税の返礼品目を更に増やし、自主財源の確保に努めます。

<b>事業名</b>	防災・減災対策の推進
<b>目標</b>	新庁舎開庁にあわせて、市全域を網羅するデジタル防災行政無線の運用が開始できるよう整備工事を円滑に進めるとともに、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織のリーダーの育成や活動支援に努めます。
<b>進捗状況</b>	<p>デジタル防災行政無線の整備工事については、工程表に基づき屋外拡声装置の柱を新たに立てる作業に7月から着手し、39か所で完成しました。本年度末で全93か所の内、85か所の完成を目指します。</p> <p>地域防災力の向上については、地域防災の中核として活躍することが期待される防災士間の連携やスキルアップを図る防災士連絡協議会の設立に向けた協議を実施しました。あわせて、自主防災組織の活動支援、市総合防災訓練、防災講演会、出前講座の実施にも取り組みました。</p>
<b>今後の対応</b>	<p>デジタル防災行政無線の整備については、避難所に指定されている公共施設等250か所に戸別受信機を設置するため、施設の調査を実施する等、計画的に工事を進めてまいります。</p> <p>地域防災力の向上については、年度内の防災士連絡協議会の設立を目指すとともに、引き続き、自主防災組織の活動支援や出前講座等による市民啓発に取り組んでまいります。</p>